

令和4年度 旭区運営方針

(自己評価概要版)

大阪市旭区役所

◆ 令和4年度の自己評価結果の総括

1年間の取組成果と今後取り組みたいこと

子育て・教育について、子どもの安全を見守る体制の強化として、関係者間で情報共有できるようICTを活用したシステムを構築し、互いに「動きの見える関係」に発展させてきた。また、小・中学生の学力向上に向けた学習機会の提供のほか、小学校においては体力等向上に向けた専門家の派遣やプログラミングの体験学習を区内の大学と連携し実施した。

健康・福祉について、健康づくりにかかる地域活動がコロナ前の状況に戻りつつあり、「あさひ健康フェスタ」を4年ぶりに開催したとともに、医介連携などについて、区医師会等の関係団体と連携・協力して推進した。また、「旭区地域福祉計画」に基づき、誰もが活躍できる場づくりの取組を進めてきたとともに、地域とともに区全体で「ゆるやかな見守り」に取り組んだ。

地域コミュニティ・まちの魅力について、コロナ禍を経て地域活動の再開が進んできたが、引き続き中止・休止となっている活動の再開に向けて積極的な支援を行った。また、旭区の魅力にふれてくれるよう「あさひファン★フェスタ」を開催するなど、城北公園や商店街をはじめ多様な地域資源を活用しながら、まちの魅力向上に向けて取り組んだ。

防災・防犯について、避難行動要支援者個別避難計画が作成され、防災意識の醸成が進んだほか、各地域の実情に合わせた防災訓練等や小・中学校における防災教育等の取組など地域防災力の向上に努めた。また、旭警察署をはじめとする関係機関と連携し、地域と協働して防犯・交通安全にかかる啓発活動や自転車対策等に取り組んだ。

今後も引き続き、「安心して住み続けられるあたたかいまち旭区」の実現に向けて取組を進めていく。

1

解決すべき課題と今後の改善方向

各取組について、この間コロナの影響等を考慮しながら柔軟に対応し、進めてきたが、やむを得ず実施できないものもあった。制約等のない環境に戻りつつある中、あらためて区民の安心・安全の確保や区の活性化等に向けて必要な取組を推進していく。特に、地域活動の再開については、地域の実情やニーズの把握に努め、積極的に支援を行っていく。

また、さらなる区民サービスの向上と効果的な区政運営をめざし、業務改善も行いながら引き続き取り組んでいく。

2

経営課題1 子育て・教育環境の一層の充実

【めざすべき将来像】

すべての子育て家庭が安心と喜びを実感しながら、子どもを生み、育てられるようなあたたかいまちをめざして、子育て支援を充実させる。

家庭の経済状況に関わらず、すべての子どもが健やかに成長し、自らの可能性を最大限発揮できる教育環境の実現を学校や地域と連携しめざす。

戦略1-1 子育て支援の充実

- ・子育ての不安感・負担感を軽減するため、必要な支援・相談体制をつくり、参加や交流を促す。
- ・地域担当保健師を軸とした妊娠期から乳幼児期までの総合的な育児・子育て相談支援体制を構築し、保健師を通じて区役所と親が信頼できる関係性を持ち、子育てに関する様々な相談に対応して社会的資源に繋げていくなどの家庭支援を推進する。
- ・子育て支援機関での「あさひ子育て安心ネットワーク（あさひキッズネット）」を充実させ、地域全体で子育てを支える仕組みづくりを強化することにより、「あさひ子育て包括支援システム」を構築する。

具体的取組

- 1 「重大虐待ゼロ」をめざす取組
- 2 保健・育児に関する家庭支援の推進
- 3 子育て支援・相談機能の充実

戦略1-2 子ども自身の生きる力の育成支援

- ・小学生及び中学生を対象として、基礎学力向上等の事業を実施する。
- ・学習習慣や生活習慣が十分身についていない子どもに対して、学習支援や自尊心・自己肯定感を育ませる事業を実施する。

具体的取組

- 1 小学生の学力、体力・運動能力向上支援
- 2 中学生の基礎学力定着支援
- 3 中学生・高校生の社会的自立に向けた支援

担当：
保健子育て課

経営課題1 子育て・教育環境の一層の充実

戦略1-1 子育て支援の充実

指標

乳幼児健診時におけるキッズカードの所持率

目標値 50%以上

達成状況 81.1 %



取組実績

- ・要保護児童対策地域協議会代表者会議 1回
- ・要保護児童対策地域協議会実務者会議 12回
- ・あさひ子育て見守り事業 アウトリーチ（あさひキッズコーディネーターによる訪問） 延べ129件
- ・あさひキッズネット会議 3回
- ・あさひキッズネット会議参加団体内でのICTツール利用促進（4年度末現在、89団体参加）
- ・キッズカード配付数 822枚

戦略に対する取組の有効性

有効であり、継続して推進



あさひキッズカード



経営課題1 子育て・教育環境の一層の充実

戦略1-1 子育て支援の充実

具体的取組1-1-2 保健・育児に関する家庭支援の推進

指標

「常設健康相談」、「乳幼児健診」に来所する保護者にアンケートを実施し、担当保健師及び地区担当制を知っているという割合

目標値 50%以上

達成状況 61.2%



取組実績

- ・常設健康相談に来られた件数 1021件
- ・ハローベビー教室 15回 73人
- ・プレパパママレッスン（土曜日開催）3回(39組)
- ・「子育て地域包括連携協定」に基づく発達症に関する連携(6件)
- ・授乳相談 12回開催 42組(母と乳児 計84名)
- ・専門的家庭訪問事業(区独自)9名 延べ58回



戦略に対する取組の有効性

有効であり、継続して推進

プレパパママレッスンの様子

5

経営課題1 子育て・教育環境の一層の充実

戦略1-1 子育て支援の充実

具体的取組1-1-3 子育て支援・相談機能の充実

指標

講座やイベントでのアンケートにおける満足度

目標値 70%以上

達成状況 95%



取組実績

- ・ベビープログラム(1回4日連続講座 4回開催 平均1回あたり8人参加)
- ・ノバティーズ・パフェット・アマリム(1回開催 8人参加)
- ・お母さんのほっとタイム(6回開催 平均1回あたり7人参加)
- ・発達障がいに関する支援の取組
ペアレントトレーニング(1回10名)
さくらんぼグループ(3歳児) (18回×6名)
プレさくらんぼグループ(2歳児) (10回×4名)
- ・子育てに関する情報発信
子育て情報誌の発行(4回) /みんなで子育サロン1回/
幼稚園・保育園(所)情報フェア Web開催/子育てLINE登録者数619人
- ・里親シンポジウム1回(パネル展示あり)
- ・命の教育プログラム「リアルケアベビーボディー体験学習」事業(2校)
- ・子どもの居場所づくり(こども食堂)に関する支援の取組
こども食堂ネットワーク会議の開催(5回)
- ・教員採用にかかる加点制度ボランティア(1人)



戦略に対する取組の有効性

有効であり、継続して推進

ベビープログラムの様子

6

戦略1-1の成果指標

アウトカム指標の達成状況

乳幼児健診時に、子育てに関する相談やサポートに満足している親の割合

目標 令和4年度までに80%以上



達成状況 90%



戦略のアウトカム指標に対する有効性

有効であり、継続して推進

7

担当：
企画課

具体的取組1-2-1 小学生の学力、体力・運動能力向上支援

指標

参加児童の学習意欲の向上や学習習慣の定着、
つまりの解消および基礎学力、体力・運動能力向上について成果があったと感じる学校

目標値 10校

達成状況 10校



取組実績

【学力アップアシスト事業】
10校中6校で実施 登録者数425名
【運動能力等向上サポート】
全10校で実施 延べ2,040名が出席
【プログラミング体験学習】
全10校（小学校6年全20学級）で実施
参加児童数585名



学力アップアシスト事業の様子



ダンスの授業の様子



プログラミング体験学習の様子

戦略に対する取組の有効性

有効であり、継続して推進

8

経営課題1 子育て・教育環境の一層の充実

戦略1-2 子ども自身の生きる力の育成支援

具体的取組1-2-2 中学生の基礎学力定着支援

指標

参加生徒の学習意欲の向上や宿題、自主学習習慣の定着、つまづきの解消および基礎学力向上について、いずれも成果があったと感じる学校

目標値 4校

達成状況 4校



取組実績

【旭ベースックサポート事業】
4校中3校で実施 登録者数655名

【旭塾】
全4校で実施 登録者数46名



旭塾 授業の様子

戦略に対する取組の有効性

有効であり、継続して推進

旭塾 募集チラシ

9

担当：
生活支援課

経営課題1 子育て・教育環境の一層の充実

戦略1-2 子ども自身の生きる力の育成支援

具体的取組1-2-3 中学生・高校生の社会的自立に向けた支援

指標

高校進学した者または事業利用終了した者が、自身が納得する進路に到達していると感じる者

目標値 70%以上

達成状況 90%



取組実績

【あさひ育み学び舎事業】

- 登録者数：中学1年生4名、2年生4名、3年生3名（計11名）
- 高校1年生11名、高校2年生5名、高校3年生10名（計26名）合計37名
- 学習支援82回、土曜自習（学習・相談）55回、調理活動9回、グループワーク5回、自立支援のための講話3回、校外学習1回



戦略に対する取組の有効性

有効であり、継続して推進

あさひ育み学び舎
周知チラシ

戦略1－2 の成果指標

アウトカム指標の達成状況

区役所からの連携や支援を得られていると感じる学校

目標 令和4年度までに小学校全10校、中学校全4校



達成状況 小学校全10校、中学校全4校

達成

戦略のアウトカム指標に対する有効性

有効であり、継続して推進

経営課題2 区民一人ひとりの生活に寄り添った福祉・健康施策の推進

【めざすべき将来像】

健康寿命を延ばし、一人ひとりがいきいきと地域社会の中で生活できるまちをめざす。障がいのある方や高齢者の皆様などの居場所・持ち場をつくり、誰もが自分らしく、安心してともに暮らせるまちをめざす。

戦略2-1 人生百年時代の健康づくり

- ・医師会・歯科医師会・薬剤師会等区内の関係団体と協力し、健康に関する興味・動機づけを行える催し（あさひ健康フェスタ）を開催する。
- ・介護予防のため、「いきいき百歳体操」の新規立ち上げなど、地域における自主活動を支援する。
- ・当区実施のがん検診についてコロナ禍にあっても感染防止に努め、1回あたりの受診枠を従前に近づける。また、広報・啓発活動を地域や医師会と連携して進める。

具体的取組

1 健康寿命を延ばす取組

戦略2-2 誰もが暮らしやすいまちづくり

複合的な課題のある要援護者や、深刻化するまで気付かれない要援護者等、対応の難しい課題が増加している中、福祉関係機関やNPO法人等と連携を強化するとともに、地域住民への要援護者に対する理解や意識向上に向けた啓発に努めながら地域住民とも連携して見守りや支援の体制を整える。

具体的取組

- 1 誰もが活躍できる仕組みづくりの推進
- 2 誰もが安心して暮らせる仕組みづくりの推進
- 3 「あさひあったかバス」（旭区福祉バス）の運行支援

12

担当：
保健子育て課

経営課題2 区民一人ひとりの生活に寄り添った福祉・健康施策の推進

戦略2-1 人生百年時代の健康づくり

具体的取組2-1-1 健康寿命を延ばす取組

指標

あさひ健康フェスタの参加者に対するアンケートを実施し、「健康寿命を延ばそうと思う」と答えた方の割合

目標値 70%以上

達成状況 82%



取組実績

- ・がん検診の広報（広報紙） 年間スケジュール保存版1回、月例8回
- ・あさひ健康フェスタ 参加者200人
- ・いきいき百歳体操 グループ数 34グループ
いきいき百歳体操参加者数： 547名
- ・いきいき百歳体操におけるコロナの啓発活動 延べ57グループ
- ・認知症予防プログラム修了者 繼続グループ数及び人数 3グループ22名
- ・健康大学修了者 栄養コース11名 健康増進コース 8名
- ・在宅医療介護連携事業 総会1回 分科会7回 研修会1回



戦略に対する取組の有効性

有効であり、継続して推進

あさひ健康フェスタ

13

経営課題2 区民一人ひとりの生活に寄り添った
福祉・健康施策の推進

戦略2-1 人生百年時代の健康づくり

戦略2-1の成果指標

アウトカム指標の達成状況

健康意識の高まりを感じると区民アンケートで答えた区民の割合

目標 令和4年度までに83%以上



達成状況 88.6%



戦略のアウトカム指標に対する有効性

有効であり、継続して推進

14

担当：
福祉課

経営課題2 区民一人ひとりの生活に寄り添った
福祉・健康施策の推進

戦略2-2 誰もが暮らしやすいまちづくり

具体的取組2-2-1 誰もが活躍できる仕組みづくりの推進

指標

授産製品の物販等の活動をしている団体や事業所
による活動の支援についての満足度

目標値 90%以上

達成状況 95.0%



取組実績

- 旭区地域福祉計画（R2～6）の中間評価
- 避難所運営における要配慮事項を取りまとめたモデルマニュアルの作成
- 庁舎内及び「あさひあったかサテライト」での授産製品の物販支援
（月2回（計23回）、サテライト月1回（計12回）
物販支援満足度 95.0%）
- ユニバーサルスポーツに係る体験会及び区役所庁舎内に啓発パネル設置
- 和んで座談会の開催 1回
- 就学・進学なんでも相談会の開催 11回
- 子育て応援セミナーの開催 1回
- 「障がい者週間」（12月3～9日）の啓発活動



戦略に対する取組の有効性

有効であり、継続して推進

障がい者福祉事業所の
授産製品販売



15

経営課題2 区民一人ひとりの生活に寄り添った
福祉・健康施策の推進

戦略2-2 誰もが暮らしやすいまちづくり

具体的取組2-2-2 誰もが安心して暮らせる仕組みづくりの推進

指標

高齢者の相談機関「地域包括支援センター」
を知っていると区民アンケートで答えた区民
の割合

目標値 55%以上

達成状況 58.0%

達成

取組実績

- ・広報あさひ9月号に高齢者福祉月間特集記事として、地域包括支援センター等の各種相談窓口を掲載
- ・「旭区認知症安心ガイド」改訂・配布・配架・区HP掲載
- ・「お守りカード」配布・配架
- ・「障がい者施設紹介冊子」作成、配付・区HP掲載
- ・「8050問題に係る啓発チラシ」作成、配布



戦略に対する取組の有効性

有効であり、継続して推進

障がい者施設紹介冊子

8050問題に係る
啓発チラシ

16

担当：
企画課

経営課題2 区民一人ひとりの生活に寄り添った
福祉・健康施策の推進

戦略2-2 誰もが暮らしやすいまちづくり

具体的取組2-2-3 「あさひあったかバス」（旭区福祉バス）の 運行支援

指標

1ヶ月あたりの利用者数

目標値 平均4,500人以上

達成状況 平均6,835人

達成

取組実績

区内交通アクセス確保のため、バス路線運行に必要な経費の一部の補助をおこない、
年間を通じてバス運行を行った。(1日あたり10便)

戦略に対する取組の有効性

有効であり、継続して推進



あさひあったかバス

17

経営課題2 区民一人ひとりの生活に寄り添った
福祉・健康施策の推進

戦略2-2 誰もが暮らしやすいまちづくり

戦略2-2 の成果指標

アウトカム指標の達成状況

障がい福祉サービス利用者を対象としたアンケート実施により
サポートする仕組みが整っており、暮らしやすいまちだと感じる割合

目標 令和4年度までに55%以上



達成状況 65.1%



戦略のアウトカム指標に対する有効性

有効であり、継続して推進